



昭和学院中学校・高等学校

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1 TEL 047-323-4171~5

http://www.showa-gkn.ed.jp/js/ FAX 047-326-5310

平成29年度 卒業証書授与式



平成29年度昭和学院高等学校卒業証書授与式が、3月5日(月)に挙行された。今回で69回となる式は厳粛な雰囲気の中、卒業生419名を祝福する在校生や、多くの保護者、来賓に見守られながら進行した。

卒業証書授与では担任の呼名に対し、卒業生一人ひとりの大きな返事が響き渡った。3年間、あるいは6年間の思いが詰まった返事である。そして、鈴木夢乃さんに総代として卒業証書が授与された。その他の表彰でも、卒業生被表彰者の所作は堂々として美しく、高校生活の総括として相応しいものであった。人生の門出に際し、大井校長より今後の大いなる活躍を期待する式辞が述べられた。また、来賓代表として山本理事長、奨学会山崎会長より激励の祝辞をいただいた。これらの訓示は卒業生にとって今後も心の財産となりえるであろう。生徒会長の橋本君から先輩方への送辞は感謝の気持ちに溢れるものであった。それを受けての卒業生代表、峰岡誠君の答辞は3年を振り返り、多くの楽しかったこと、苦しかったこと、先生・保護者・友人への感謝が述べられており、会場の感動を誘うものであった。しかし、高校生活の思い出ばかりではなく、これから本学院を巣立って行く自信や、目標もしっかりとした口調で述べられ、強さと頼もしさも



▲ 総代の鈴木夢乃さん



▲ 先生に感謝を伝える卒業生

感じさせるものであった。卒業の歌、送別の歌は従来の「仰げば尊し」「蛍の光」から卒業の歌として「旅立ちの日に」に変えられ、今回初めて披露された。卒業生と在校生が心を込めた最後の素晴らしい歌声であった。卒業生が退場する際、昭和学院高等学校の伝統の1つともいえるべき感謝の一言が、立ち上がった卒業生から一斉に、壇上の担任に送られた。その言葉は担任の心に染み渡り、生徒たちがともに歩み、成長してきた喜びでいっぱいになる瞬間であった。参列した誰もが感動し、心温まる卒業証書授与式であった。式後は各教室で保護者が見守る中、担任より一人ひとりに卒業証書が手渡された。受験や就職活動という人生の大きな試練を見事乗り越え、自立に向かって歩み始める生徒たちの顔は、自信と希望に満ち溢れていた。昭和学院高等学校ではこれからも卒業生を応援し、大いなる活躍を期待している。頑張れ!! 昭和学院卒業生!!



▲ 最後のクラス写真

高2 沖縄修学旅行

～ 自然・平和・文化・歴史～



▲ 首里城にて

本校では、高校2年生で沖縄修学旅行を実施し、今年で8回目となる。沖縄修学旅行の目的は、沖縄の歴史と自然や文化を学び、体験すること、平和や命の尊さを学び、伝承していくことにある。また生徒主体の集団活動を通し、自主性や責任感を育み、自覚ある行動を実践することにある。第1班は2月6日に、第2班は2月7日に出発し、3泊4日の行程で実施された。

初日は朝7時20分に羽田空港に集合し、一路那覇空港へ。美味しい沖縄料理を楽しんだ後、おきなわワールドを見学。次に新規の企画「がちゆん平和教育プログラム」に参加した。まず沖縄県平和祈念資料館を現地大学生の案内で見学した後、ホテルで夕食を共にして交流を深め、食事を終えた後、学生たちと意見交換を行った。沖縄の歴史を通して平和の尊さについて考えを深めることができた。



▲ がちゆん平和教育プログラムでのディスカッション

第2日目は昨日に続き平和学習をした。ひめゆり平和祈念資料館で千羽鶴を奉納し、全員で黙祷を捧げた。続いてボランティアガイドの案内でガ

マ体験をした後、クラス別行動を実施した。グラスボートで、青い珊瑚礁の海を、またピオスの丘で沖縄の豊かな自然を堪能したクラス、ビーチを歩き、美浜アメリカンビレッジやブルーシールアイスパークで買い物を楽しんだクラス、琉球村でワークショップを体験し、御獄という祭祀施設で沖縄の信仰

マ体験をした後、クラス別行動を実施した。グラスボートで、青い珊瑚礁の海を、またピオスの丘で沖縄の豊かな自然を堪能したクラス、ビーチを歩き、美浜アメリカンビレッジやブルーシールアイスパークで買い物を楽しんだクラス、琉球村でワークショップを体験し、御獄という祭祀施設で沖縄の信仰



▲ 平和への祈りを込めて轟壕へ

を学んだクラスもあった。クラス別行動の後は次の宿泊地に向かい、ホテルでそれぞれが自由に夕食を楽しんだ。沖縄の平和と文化を学び自然を満喫した日となった。

第3日目は終日沖縄の豊かな海を存分に味わった。沖縄北部の東村で、平良湾シーカヤックに挑戦した。多くの生徒が初めての体験であったが、適切な指導の下で安全にカヌーを楽しんだ。またそれと併せてプロジェクトアドベンチャーを行った。次に向かったのは海洋博公園・美ら海水族館である。世界最大のジンベエザメなどが泳ぐ姿を眺めることができる。その雄大さに圧倒されながら、この美しい自然も平和とともに守っていかなければならないと実感できた。

最終日はかつて琉球王国の王府として繁栄を極めた首里城を見学した。太平洋戦争の時は日本軍司令部が置かれ、アメリカ軍の攻撃を受けて灰燼に帰した。その歴史をたどった後で国際通りに移動し、沖縄料理やショッピングなど、約3時間の班別行動を楽しんだ後、那覇空港へ向かい帰途についた。

今回の修学旅行は多くのことを学んだ満足感とクラスの連帯感を感じた実りあるものとなった。再び沖縄を訪れることがあれば、この体験を思い出してもらいたい。



▲ 平良湾シーカヤック

百人一首大会



▲ 中学校百人一首大会

第14回中学校百人一首大会が2月7日(水)6時間目にメインアリーナにて開催された。どのチームも札が読まれたとたん元気良く取る音が響き、大いに盛り上がった。高校は2月16日(金)放課後、高1、2年の各クラスの代表が参加し、トーナメント形式で勝負に挑んだ。決勝は、白熱に富んだ試合となった。結果は、次のようになった。

〈中学個人賞〉

〈最優秀賞〉

小嶋 真葉 (1-4)
伊藤 彩果 (2-1)
五十嵐えり (3-1)

〈優秀賞〉

野崎桜太郎 (1-2) 定本 美咲 (1-3)
櫻井 暁 (1-2) 石田 青天 (1-1)
市川 璃恋 (1-2) 大木 麻耶 (2-1)
牛山 理紗 (2-2) 熊谷 奈々 (2-1)
杉山菜々子 (2-1) 伊原 秀介 (2-1)
大橋美多葉 (2-1) 木村 琴乃 (3-3)
古牧 希 (3-1) 川野 洋奈 (3-2)
渡辺 涼介 (3-1)

優勝

1年3組、2年1組、3年1組

第2位

1年1組、2年2組、3年3組

優勝

町田 佳志 (2K)

準優勝

三浦 雄大 (1C)

第3位

藤原 冴香 (1E)

書き初め展



▲ 書き初め席書大会の作品とともに

1月28日(日)千葉県総合スポーツセンター体育館の席書大会に参加する市川地区代表として、本校からは塚本ひかりさん(中1)、石塚日菜子さん(中3)、齊藤玲奈さん(高3)の3名が選出された。校内書初め展(1月27日～30日)では、その作品を含む生徒の力作を展示した。また校長賞として、本地志穂さん(中3)、小越郁音さん(高1)の2名が選ばれた。

美術科優秀作品展

生徒達の作品から優秀なものを選出し、2月27日(火)から3月12日(月)の12日間にわたって展示した。今年度はシラバスを一部改訂し、より一層生徒達が思考力や発想力を働かせる課題を用意した。工夫



を凝らした技術力の高い作品もあれば、迷いや悩みなどが表現に見られるもの不思議と魅力を感じさせる作品も並んだ。

中学 ビブリオバトル



▲ 優勝した古川さん

紹介したい本を持ち寄り、一人3分間で紹介し、その後1分間の質問タイムとなる。各クラスの代表1名がこの場で本を紹介できるのだが、ここに出場するまでには長い道のりがあった。中学校では毎日、朝自習の時間を「朝の読書」にあてている。1学期は自分の読みたい本、2学期は図書館で選んだ本、3学期は羅針盤に掲載されている本を基本に20分間、各自が読書に取り組んできた。1学期の終わりにクラス内でビブリオバトルを行い、2学期の夏休み明けの授業では、夏休みに読んだ本で、1分間スピーチを行った。そして3学期は、伊藤記念ホールで発表するクラスチャンプ本を選んだ。クラスによって多少の違いはあるが、5～6人グループでグループチャンプ本を選び、グループの代表が全員の前でビブリオバトルを行う。そして投票の結果、選ばれた本(クラスチャンプ)がこの伊藤記念ホールでビブリオバトルの決戦に臨むのだ。

2月28日(水) 第6時限、昭和学院中学校ビブリオバトルが伊藤記念ホールにて行われた。ビブリオバトルとは、書評合戦である。自分が紹介

クラス代表とあって、どの生徒も生き生きと自分のおすすめ本を紹介していく。持ち時間の3分間をびったり使い切るところもさすがだ。1分間の質問タイムでは、全校生徒の中から積極的に手が上がり、深い質問もされるが、発表者はよく本を読み込んでいるため、はきはきと答える。最後に投票による代表の決定だ。ビブリオバトルは、プレゼンテーションのうまさではなく、「自分が読んでみたい」と思った本に投票する。結果は下記のとおりである。チャンプ本となった古川七菜子さんは、学校代表として3月28日に上智大学で行われる「全国中学校ビブリオバトル決勝大会」に参加する。存分に力を発揮してほしい。



ビブリオバトル結果

- 第1位** 3年4組 古川七菜子
チャンプ本 『つなぐ』(辻村深月)
- 第2位** 3年1組 五十嵐えり
準チャンプ本 『浜村渚の計算ノート』(青柳碧人)
- 第3位** 3年2組 高橋 明里
『また、同じ夢を見ていた』(住野よる)

中1 卒業生のお話を聞く会



▲ 質問に答える卒業生

今回は本学院中学校高等学校を卒業した川寄智央さん、古市亜美さん、高西実果さんの3人が講師となり、現在の仕事の内容や後輩へのメッセージを語ってくれた。「学校生活を満喫しよう」「恵まれた環境を最大限に活かす」「きまりを守る」「好きなことを見つける」「友達を大切にする」「時間を大切にする」「目標を立てる」「自分が元気になるもの・なれる場所を見つける」など、これから人生を歩んでゆく中学生が、人として大切にすべきことをわかりやすく話してくれ、生徒も熱心に聞いていた。質疑応答の「仕事の中で嬉しかったこと」「これからの目標」「気をつけていること」との質問にも、それぞれ丁寧に答えてもらった。卒業生の話から、働くことの大変さや楽しさなど、多くのことを学んだ時間となった。

2月10日(土)4時間目に伊藤記念ホールにて「卒業生のお話を聞く会」が実施された。

これはキャリア教育の一環として、現在社会人として活躍している卒業生のお話を聞くものである。

新生徒会

平成30年度の生徒会役員が1月13日(土)に任命され、生徒の力で学校をよりよくしようと活動を開始した。会長の橋本君は「前会長が引っ張っていた昨年度の生徒会の色とは違う、独自の色を出せるよう、昭和学院で皆さんが楽しく、気持ちよく生活できるよう、盛り上げていきます!」と抱負を語っている。新生徒会役員がどのような活躍を見せてくれるか、期待している。

- 会 長 橋本 岳琉(2B)
- 副 会 長 原 一真(2F)
- 書 記 長濱 雄大(1L)
- 益子 奈央(2E)
- 吉原すみれ(1L)
- 会 計 廣瀬 陽菜(2B)
- 關 智美(1D)
- 会計監査 大江 鞠奈(2J)
- ダリリング杏那(1F)



わがクラス 2年A組

私たちのクラスは今年で解散になります。3年前に立てた学級目標は、`Dreams Come True` 夢は叶う。そこから始まった特進クラスに在籍しての学校生活。3年1組、1年A組、2年A組.....。クラス名は変わっても同じメンバーで過ごした日々。辛い時に支えあうことができる信頼関係は、そんな3年間で築き上げました。大好きな仲間と過ごした、絶対に忘れることのない、かけがえない大切な時間。クラスは分かれても、心結び、大切な仲間の「夢の実現」を願い合える、そんなクラスであり続けたいです。



▲ 4月の集合写真

中3 語学研修 in Australia

平成28年度より中学の英語授業はオールイングリッシュとなった。これは、本校改革の一環で、英語力向上を目指す取り組み。1年次よりオールイングリッシュ授業、2年次にイングリッシュキャンプを体験、3年次はその集大成の海外語学研修となるものである。第1回目となる今回は、卒業式を終えたばかりの希望者14名が参加。期待と不安を胸に3月23日、いよいよ出発する。



▲ ブリスベン

SHOWA GAKUIN

活躍する部活動

バスケットボール部 (女子) WINTER CUP 2017

心・技・体と大きな力の差を見せつけられ、敗北した夏から5ヶ月、ウィンターカップ2017・平成29年度第70回全国高等学校バスケットボール選手権大会は12月23日～28日に、東京体育館で開催された。シードである本校は2回戦からの出場。相手は青森県代表八戸学院光星高校だった。初戦で選手に硬さは見られたが、メンバー全員が出場し、81-43で勝利。3回戦は三重県代表四日市商業高校。ターンオーバーが続き流れを掴めないまま試合は最終ピリオドまで纏れる展開となった。75-70で辛勝。この日のミ



▲ ドライブを仕掛ける佐古

ーティングでは喝を入れ、メンバー全員に現状を問わせた。準々決勝は桜花学園。気持ちを強く持ち、主将の佐古は終始、積極的に声をかけチームを牽引した。結果は53-67、タフな守りから果敢に攻め、最後まで全力を尽くして戦ったが、勝負どころの差が結果となった。今大会を通じ、3年生が各々の立場で役割を果たしチームに大きく貢献してくれた。目標達成は出来なかったが、校長先生をはじめ、多くの方々のご支援があってこそこの大会だったことを、選手達には忘れないで欲しい。ご声援ありがとうございました。



▲ 下級生も大きな経験を積んだ

から果敢に攻め、最後まで全力を尽くして戦ったが、勝負どころの差が結果となった。今大会を通じ、3年生が各々の立場で役割を果たしチームに大きく貢献してくれた。目標達成は出来なかったが、校長先生をはじめ、多くの方々のご支援があってこそこの大会だったことを、選手達には忘れないで欲しい。ご声援ありがとうございました。

吹奏楽部

本年度は、日本管楽合奏コンテスト全国大会に5年連続5度目の出場を果たすことが出来ました。目標であった「最優秀賞」は逃してしまいましたが、得るものが多い1年でした。何よりも多くの支えがあっての活動であること、そして「感謝の気持ち」を強く感じました。来年度へ向け、新たな気持ちで前進して行きたいと思います。



▲ 日本管楽合奏コンテスト

弦楽部

今年度、弦楽部では2つの嬉しいことがあった。1つ目は、日本学校合奏コンクール全国大会アンサンブルの部で、念願の金賞が取れたこと。2つ目は、県内の高校97校155団体が演奏した高文連音楽会の中から、本校が夏の全国高校総合文化祭に千葉県代表として選出されたことである。今後も着実な向上を目指していきたい。



▲ 金賞を受賞した弦楽部

バトン部

第45回バトントワーリング全国大会が12月9日幕張メッセで行われ、関東代表として高校生が出場した。会場の雰囲気にも圧倒されながらも「私たちがらしさ」を大切に演技することができた。銀賞という結果だが、心一つにして演技することができ、満足している。来年度は中学高校共に出場出来るよう頑張りたい。



▲ バトン全国大会

ダンス部

ダンス部は第5回日本ダンス大会、avex主催第5回全国高等学校ダンス部選手権決勝大会に出場しました。大会には第1回～第5回まで予選を勝ち抜き連続出場しています。今年度は念願だった審査員特別賞「長澤孝賞」を受賞することができました。来年度の大会優勝を目指し目標に向かい、レベルアップしたいと思います。



▲ 日本ダンス大会

剣道部

「交剣知愛」を部の方針とし、心身の鍛錬に励んでいます。数年前までは、県大会への出場も難しかった団体チームが、大井校長を始めとする七段の指導者の方々のご協力により、市川市民大会優勝、県大会ベスト32と着実に力をつけております。今後は県大会上位進出を目標とし、目標達成にむけて努めていきます。



▲ 着実に力をつけている剣道部

空手同好会

高校生の経験者を部長に、初心者や中学生も一緒に練習をしています。関東大会県予選で高1男子が個人組手でベスト16に入り、また、男女1名ずつが県の強化選手にも選ばれています。オリンピック種目にもなったように、「スポーツ空手」として練習に励んでいます。が、「武道」としての礼節を重んじて心身を鍛えています。



▲ 熱心に稽古に励む様子

ボランティア活動部



▲ 受賞した 堺有莉沙さん

今年度の市川市善行賞は、本校の高校2年堺有莉沙さんに決まり、11月18日(土)に市川市八幡市民会館の全日警ホールで表彰されました。堺さんは、市内の各施設訪問、関係団体のお手伝い、募金活動、キャンペーン活動に積極的に参加し、市川市の地域活性化に貢献したことが認められました。今後も意欲的に活動していきます。

強化選手紹介



▲ 水泳部 徳永美緒さん

高校3年徳永美緒さんが、千葉県東京オリンピック・パラリンピック強化指定選手となっている。徳永さんは「高校生活において多くの時間を水泳の競技力向上に費やし、その結果強化選手に選ばれ、とても嬉しいです。東京オリンピックに向け、日々精進します。」と語っている。東京オリンピックで徳永さんの姿を見ることを楽しみにしている。

SHOWA GAKUIN

春の全国選抜大会など

高校新体操部 第33回全国高等学校新体操選抜大会

福島県 あづま総合体育館
3月24日(個人)25日(団体)

自分達の代になり初の全国大会を、臆することなく全力で演じきり、勝利を勝ち取りたいと思います。



吹奏楽部 第34回日本クラシック音楽コンクール全国大会金管部門ホルン

小松川さくらホール
3月26日(月)

個人コンクールの全国大会に近藤聡音君(高3)が出場することが決まった。悔いの無い演奏をして欲しい。



高校ハンドボール部(女子) 第41回全国高等学校ハンドボール選抜大会



兵庫県神戸市他
3月24日～29日
沢山のご声援有難うございます。すべての試合を全員で心を1つにして戦い、上位を狙います。

中学ソフトテニス部 平成29年度都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会



三重県営サンアリーナ他
3月26日～28日
男子2名・女子8名が参加。「笑顔で元気良く粘り強く！」をモットーに千葉県チームとして堂々と戦い、ベストを尽くし、上位を目指して頑張ります。

高校ソフトテニス部(男子) 全日本高校選抜ソフトテニス大会

愛知県名古屋日本ガイシプラザ
3月27日～30日

二度目の出場。3ペアの総合力と攻撃的な戦い方で上位入賞目指し、チャレンジしていきます。



中学バスケットボール部 第31回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2018

東京体育館・市川市国府台スポーツセンター
3月28日～30日

本校からは中学2年花鳥百香さんが出場する。花鳥さんは「昨年の悔しい経験を活かし、今年こそは頂点に立てるよう、一戦一戦を一生懸命戦い抜きます。」と抱負を述べている。



奨学会だより

登校時の校外活動

1月27日(土)7時40分から8時15分まで、厚生補導部による朝の校外活動が行われた。これは挨拶の推進と生徒の登校状況を把握・指導することを目的とし、年2回実施されているものだ。寒い中ではあるが、生徒の登校状況がわかるだけでなく、元気な挨拶が返ってくることで子どもの成長を感じ、学校全体の雰囲気を知る良い機会となっている。今後も挨拶の大切さ、公道を歩くマナーなどを伝えるため実施していきたい。



▲ 校外活動の様子

各部より

総務部 奨学会全体の活動をまとめる部署です。保護者同士、学校側との交流を目的とし、校外研修や役員懇親会、桜和祭での奨学会展示室の運営などを実施しています。

学習施設部 主な活動は、校内の教育環境を整えることです。その一環として、7月には校内施設の見学会を実施し、通年で校内の緑化やトイレの美化に努めています。

文化教養部 今年度の文化講演会は松木安太郎氏をお迎えし、保護者と生徒と一緒に講演を聞くという企画を、多くの方のご協力を得て実施しました。今後も宜しくお願いします。

厚生指導部 今年度も文化祭バザーのお手伝いから朝の登校指導まで、多くの保護者の方々に活動のご協力をいただきました。来年度もどうぞ宜しくお願いします。

行事推進部 本年度も、インターハイ予選から多くの保護者の方々が大会会場に足を運んで下さいました。来年度も宜しくお願いします。

母姉部 桜和祭のバザーを実施させていただきました。バザー開催へのご協力、また当日多くの方に足を運んでいただき、まことにありがとうございました。

部会・常任理事会開催

第3学期の部会・常任理事会が、2月24日(土)に開催された。まず行われた部会では今年度活動を振り返り、来年度の活動が益々活発化するよう各部で話し合いが行われた。引き続き行われた常任理事会は会長と校長の挨拶後、各部の活動報告と反省、来年度の目標などが話し合われた。「奨学会と教職員の連携があって、初めて生徒への教育が充実する。1年間を振り返ると多くの保護者の方に学院のため、奨学会の行事に参加・協力していただいた。このことに深く感謝し、今後も奨学会の活動を益々充実させていく。」ことを確認し、閉会となった。



▲ 常任理事会の様子



▲ 常任理事のみなさん

主な合格状況

(3月8日現在)

四年制大学

<国公立大>

筑波大	2
東京外国語大	1
お茶の水女子大	1
千葉大	4
山形大	1

<私立大学>

上智大	1
早稲田大	6
東京理科大	14
明治大	11
青山学院大	4
立教大	13
中央大	11
法政大	13
学習院大	1
津田塾大	2
東京女子大	1
日本女子大	3
学習院女子大	2
聖心女子大	1
立命館大	1
國學院大	9
明治学院大	4
東京薬大	1
成蹊大	4
成城大	4
独協大	6
武蔵大	4
東京農業大	12
東邦大	16
順天堂大	4
日本大	29
東洋大	23
駒沢大	6
専修大	7
大東文化大	7
東海大	4
亜細亜大	4
帝京大	13
国士館大	5

杏林大	1	中央学院大	5
芝浦工大	3	帝京科学大	8
東京電機大	5	帝京平成大	5
武蔵野大	8	桐蔭横浜大	1
神田外語大	5	東京医大	1
文教大	2	東京有明医療大	2
大妻女子大	5	東京医療保健大	2
共立女子大	6	東京家政大	2
実践女子大	2	東京経済大	4
昭和女子大	10	東京工大	2
白百合女子大	2	東京工芸大	3
麻布大	3	東京女子医大	1
足利工大	1	東京情報大	5
跡見学園女子大	8	東京成徳大	3
植草学園大	2	東京聖栄大	1
江戸川大	5	東京造形大	1
桜美林大	5	東洋学園大	2
大阪体育大	1	東京富士大	2
神奈川大	5	東京未来大	3
鎌倉女子大	1	二松学舎大	3
関東学院大	1	日本工大	2
共栄大	2	日本獣医生命科学大	1
工学院大	1	日本女子体育大	4
国際医療福祉大	1	日本体育大	3
神戸松蔭女子大	1	日本文化大	1
産業能率大	2	日本薬大	4
淑徳大	7	白鷗大	1
城西国際大	2	文化学園大	3
十文字学園女大	2	文京学院大	4
湘南工大	1	美作大	1
女子栄養大	3	武蔵野音大	1
女子美術大	2	武蔵野美大	2
聖徳大	4	明海大	7
聖学院大	1	明星大	2
洗足学園音大	1	目白大	5
大正大	10	ヤマザキ学園大	2
大同大	1	山梨学院大	3
拓殖大	1	立正大	5
玉川大	4	流通経済大	6
多摩美大	1	麗澤大	4
千葉科学大	1	和洋女子大	5
千葉経済大	2	国際武道大	1
千葉工業大	43	神戸学院大	1
千葉商科大	3		

短期大学

昭和学院短大	20
青山学院女短	4
大妻女短	1
共立女子短大	1

専門学校

国立看護大学校	1
慈恵看護専門学	1
千葉医療附看護	1
帝京高等看護学	1

他 37

就職

自衛隊、警視庁、サントリービバレッジサービス株式会社、株式会社ファーストサポート

合格者の横顔

合格者に①～⑤の質問をしました。 ①クラス・文理の別・氏名 ②現在までの合格大学 ③努力したこと ④平均学習時間(平日・休日) ⑤後輩へのアドバイス



①3 A文系 石川 航 ②東京外国語大学国際社会学部、上智大学総合グローバル学部、東京理科大学経営学部、立教大学文学部・コミュニティ福祉学部、中央大学文学部、青山学院大学文学部・法学部 ③夏休みまでに基本事項をまとめ、2学期以降は志望校の傾向に対応できるトレーニングをしました ④平日6時間、休日13時間 ⑤英語は丸暗記せずに、核となる部分を語源や語呂合わせで覚えていった方がよいと思います。受験期は不安や緊張もあると思いますが、無理に解消しようとせず、努力の証だと思ってリラックスしてください。

①3 B理系 樋口七海 ②お茶の水女子大学理学部、東京理科大学理学部応用数学科・数学科・理工学部数学科、明治大学理工学部・総合数理学部、立教大学理工学部、中央大学理工学部・商学部、法政大学情報学部、津田塾大学学芸学部 ③学校の勉強を大切に、基礎固めを徹底しました ④平日4時間、休日7～8時間 ⑤模試を活用して苦手分野を克服しましょう。自分なりの勉強方法を見つけると良いと思います。



①3 B文系 神崎 涼 ②早稲田大学教育学部、東京理科大学経営学部、明治大学文学部・農学部、立教大学文学部日本文学科・文学部ドイツ文学科、中央大学文学部・経済学部、法政大学文学部・社会学部、國學院大学文学部 ③多くの問題集を活用して色々な問題を解きました ④平日4時間、休日8～9時間 ⑤英単語や古文単語は1、2年生のうちからしっかり取り組んでください。特に文系科目はコツコツ積み重ねることが大切です。模試の判定に左右されずに頑張ってください。



進路を振り返って

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これから始まる新しい生活に向け、夢と希望で胸を膨らませていることと思います。

2018年度入試を振り返ると次のような特徴が挙げられます。①受験戦争は緩和し、志願者は1%減少する。②「地元志向」の傾向が続き、文系(人文、法学、経済、商学、国際関係など)の志願者が増加している。③国立大学の学部改組が見られる。④英語外部検定試験を利用する大学が増加している。⑤私立大学では入学定員厳格化の影響が見られる。⑥「思考力・判断力・表現力」を問う問題の出題が増える。



▲ 進路指導部長 山崎直子

このような厳しい状況の中、多くの生徒たちが努力の成果を現しました。国立の筑波大学を筆頭に難関私立大学への合格実績を伸ばしました。合格を勝ち取った生徒の皆さんには次のような共通点があります。①早期から進学目標を設定し、継続的に努力を続けたこと。(難関大学を目指す人ほど早期の受験取り組みが必要) ②情報収集を行い、自分で調べ、担任のみならず教科指導の先生の助言を謙虚に受け入れたこと。③第1志望に対して強い思い入れがあり、1・2年からオープンキャンパスに参加し、志望大学にあわせて自分の成績を伸ばしたこと。④受験計画を何度も遂行し、弱点克服のための振り返りを十分にしたこと、です。

卒業生の皆さん、これからもチャレンジャーとして目標に向かって努力してください。